

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-100678

(43)Date of publication of application : 13.04.2001

(51)Int.Cl.

G09F 13/06

G08B 17/00

(21)Application number : 11-273422

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC WORKS  
LTD

(22)Date of filing : 27.09.1999

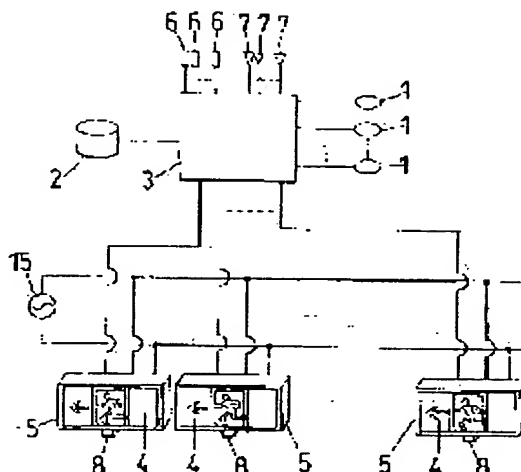
(72)Inventor : ARAKI HIROTSUGU  
IDA MIZUHITO

## (54) LUMINAIRE FOR EMERGENCY EXIT SIGN SYSTEM

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a luminaire for emergency exit sign system which is capable of guiding safe outlet directions to people and leading the people to safety in case there is danger in normally displayed indication directions and in case there is danger in the escape inlets and outlets in the normally displayed indication directions.

SOLUTION: This system has danger detecting means 1 which are mounted in the plural inlets and outlets within buildings and detect danger information 21 relating to the passage through the inlets and outlets generated in the event of a disaster, a memory means 2 in which the optimum escape inlets and outlets in the event of the disaster and other escapable inlets and outlets are stored, a control means 3 which judges the safety of the optimum escape inlets and outlets in accordance with the danger information 21 and selects the safe inlets and outlets from other inlets and outlets in case the optimum escape inlets and outlets are dangerous and luminaire for emergency exit sign 5 having display means 4 which normally display 20 the optimum escape inlets and outlets and make changed display 22 toward the another safe inlets and outlets in case the optimum escape inlets and outlets are dangerous.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 28.05.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 16.03.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-100678

(P2001-100678A)

(43) 公開日 平成13年4月13日 (2001.4.13)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

フォーマット\* (参考)

G 0 9 F 13/06

C 0 9 F 13/06

A 5 C 0 9 6

G 0 8 B 17/00

C 0 8 B 17/00

F 5 G 4 0 0

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号

特願平11-273422

(22) 出願日

平成11年9月27日 (1999.9.27)

(71) 出願人 000003832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72) 発明者 荒木 宏嗣

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72) 発明者 井田 瑞人

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(74) 代理人 100111556

弁理士 安藤 淳二 (外1名)

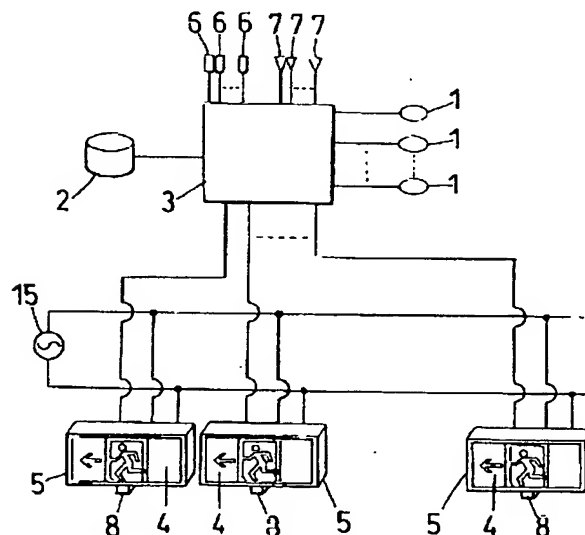
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 誘導灯システム

(57) 【要約】

【課題】 通常表示された指示方向に危険がある場合に、通常表示された指示方向の避難出入口に危険がある場合に、安全な出口方向を知ることができ適切に避難できる誘導灯システムを提供すること。

【解決手段】 建物内の複数の出入口に取り付けられ災害時に発生する出入口通過に関する危険情報21を検知する危険検知手段1と、災害時の最適避難出入口および他の避難可能な出入口を記憶させた記憶手段2と、危険情報21に基づいて最適避難出入口の安全性を判断し、最適避難出入口が危険である場合に、他の出入口の中から安全な出入口を選択する制御手段3と、通常時に最適避難出入口を通常表示20するとともに、最適避難出入口が危険である場合の安全な他の出入口方向へ変更表示22する表示手段4を前面に備えた誘導灯5と、を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 建物内の複数の出入口に取り付けられ災害時に発生する出入口通過に関する危険情報を検知する危険検知手段と、災害時の最適避難出入口および他の避難可能な出入口を記憶させた記憶手段と、危険情報に基づいて最適避難出入口の安全性を判断し、最適避難出入口が危険である場合に、他の出入口の中から安全な出入口を選択する制御手段と、通常時に最適避難出入口を通常表示するとともに、最適避難出入口が危険である場合の安全な他の出入口方向へ変更表示する表示手段を前面に備えた誘導灯と、を備えてなることを特徴とする誘導灯システム。

【請求項2】 災害を火事とし危険検出手段として、炎検知センサを用いることを特徴とする請求項1記載の誘導灯システム。

【請求項3】 建物内の複数の出入口に煙又はガス検知センサを備え、制御手段により選択された出入口に煙又はガスを発生している場合に、煙又はガスの付加情報を表示手段に表示させることを特徴とする請求項2記載の誘導灯システム。

【請求項4】 記憶手段が、各誘導灯の避難可能な出入口を誘導灯と避難出入口との位置関係により、より避難に適した出入口を順位を付けて記憶しているとともに、この順位に基づいて制御手段が安全な出入口を選択することを特徴とする請求項1乃至3記載の誘導灯システム。

【請求項5】 災害時の危険情報を表示手段に表示させることを特徴とする請求項1乃至4記載の誘導灯システム。

【請求項6】 誘導灯周囲の人体を検知して制御手段に検知信号を送信する人体検知手段を誘導灯近傍に設け、人がいる場合に表示手段による表示変更を行うことを特徴とする請求項1乃至5記載の誘導灯システム。

【請求項7】 人体検知手段を人の声を検知する音声検知センサにより形成してなることを特徴する請求項6記載の誘導灯システム。

【請求項8】 誘導灯を壁面の対向位置に配置し、表示手段の表示内容をこの壁面に拡大投影表示する投影装置を誘導灯に設けてなることを特徴とする請求項1乃至7記載の誘導灯システム。

【請求項9】 安全な出入口方向への誘導表示を壁面の誘導方向に走査表示させるレーザー照射装置を誘導灯に設けてなることを特徴とする請求項8記載の誘導灯システム。

【請求項10】 壁面の誘導灯周囲部にエア流通口を設け、壁内部にエア流通口と流通する流通路を設け、この流通路内にエア流通口からのエア排気又は吸気を行うエアブロー装置を設けてなることを特徴とする請求項1乃至9記載の誘導灯システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、建物の廊下や出入口の壁面に配設され、火災、地震等の災害時に避難誘導を行う誘導灯システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、誘導灯は、建築基準法に基づき該当する建物の廊下や出入口の壁面に配設され、前面に災害時の避難方向を示す矢印や避難出口であることを示す表示シンボルなどが印刷されている。

【0003】このような誘導灯として、特開平4-258989号公報に記載された誘導灯が提案されている。この誘導灯は、その指示方向に火災等の危険が発生している場合には、内部に設けたセンサーあるいは各所に配置したセンサーに連動させ、指示方向側に赤色、危険の文字、炎の絵などの危険を表象表示している。

【0004】このような誘導灯では、危険を検知するセンサーに連動させて危険を表象するので、危険方向を知らせ、正しい避難経路を示すことができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の誘導灯では、通常表示された指示方向に危険がある場合に危険表示により危険であるということは認知できるが、この場合安全な出口方向がわからず適切に避難できないという問題がある。

【0006】本発明は、上記事由に鑑みてなしたもので、その目的とするところは、通常表示された指示方向に危険がある場合に、通常表示された指示方向の避難出入口に危険がある場合に、安全な出口方向を知ることができ適切に避難できる誘導灯システムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1記載の発明では、建物内の複数の出入口に取り付けられ災害時に発生する出入口通過に関する危険情報を検知する危険検知手段と、災害時の最適避難出入口および他の避難可能な出入口を記憶させた記憶手段と、危険情報に基づいて最適避難出入口の安全性を判断し、最適避難出入口が危険である場合に、他の出入口の中から安全な出入口を選択する制御手段と、通常時に最適避難出入口への誘導表示を表示するとともに、最適避難出入口が危険である場合に、誘導表示を安全な他の出入口方向へ変更表示する表示手段と、を備えてなることを特徴として構成している。

【0008】このような誘導灯システムでは、災害時に危険検知手段により検知された危険情報に基づいて、制御手段により最適避難出入口の安全性を判断し、最適避難出入口が危険である場合に、他の出入口の中から安全な出入口を選択し、表示手段によりこの選択された出入口に誘導表示を変更表示するため、通常表示された指示方向の最適避難出入口に危険がある場合に、安全な出入

口方向を知ることができ適切に避難できる。

【0009】また、請求項2記載の発明では、請求項1記載の発明において、災害を火事とし危険検出手段として、炎検知センサを用いることを特徴として構成している。

【0010】このような誘導灯システムでは、最適避難出入口付近で火事が発生したときに、炎検知センサで炎を検知するため、火事の危険情報を知ることができる。

【0011】また、請求項3記載の発明では、請求項2記載の発明において、建物内の複数の出入口に煙又はガス検知センサを備え、制御手段により選択された出入口に煙又はガスを発生している場合に、煙又はガスの付加情報を表示手段に表示させることを特徴として構成している。

【0012】このような誘導灯システムでは、制御手段により選択された出入口に煙又はガスが発生している場合に、煙又はガス検知センサによりこの出入口付近での煙又はガスの付加情報を知ることができるため、煙又はガスに対する安全行動の必要性を知ることができる。

【0013】また、請求項4記載の発明では、請求項1乃至3記載の発明において、記憶手段が、各誘導灯の避難可能な出入口を誘導灯と避難出入口との位置関係により、より避難に適した出入口を順位を付けて記憶していると同時に、この順位に基づいて制御手段が安全な出入口を選択することを特徴として構成している。

【0014】このような誘導灯システムでは、最適避難出入口が危険である場合に、記憶手段に記憶された順位に基づきより避難に適した出入口への誘導表示を行うため、より適切に避難できる出入口を知ることができる。

【0015】また、請求項5記載の発明では、請求項1乃至4記載の発明において、災害時の危険情報を表示手段に表示させることを特徴として構成している。

【0016】このような誘導灯システムでは、表示手段が災害時の危険情報を表示するため、災害の箇所を知ることができ、落ち着いて避難できる。

【0017】また、請求項6記載の発明では、請求項1乃至5記載の発明において、誘導灯周囲の人体を検知して制御手段に検知信号を送信する人体検知手段を誘導灯近傍に設け、人がいる場合に表示手段による表示変更を行うことを特徴として構成している。

【0018】このような誘導灯システムでは、人体検知手段により、誘導灯周囲の人体を検知し、人がいる場合に表示手段による表示変更を行うため、人がいない時は表示変更しないことができ、表示変更による電力損失を軽減できる。

【0019】また、請求項7記載の発明では、請求項6記載の発明において、人体検知手段を人の声を検知する音声検知センサにより形成してなることを特徴として構成している。

【0020】このような誘導灯システムでは、人体検知

手段を人の声を検知する音声検知センサにより形成しているため、煙などの影響を受けずに、人の声を検知することができる。

【0021】また、請求項8記載の発明では、請求項1乃至7記載の発明において、誘導灯を壁面の対向位置に配置し、表示手段の表示内容をこの壁面に拡大投影表示する投影装置を誘導灯に設けてなることを特徴として構成している。

【0022】このような誘導灯システムでは、誘導灯に設けた投影装置により、対向する壁面に表示手段の表示内容を拡大投影表示するため、表示内容を拡大して見易くなっている。

【0023】また、請求項9記載の発明では、請求項8記載の発明において、安全な出入口方向への誘導表示を壁面の誘導方向に走査表示させるレーザー照射装置を誘導灯に設けてなることを特徴として構成している。

【0024】このような誘導灯システムでは、誘導灯に設けたレーザー照射装置により、安全な出入口方向への誘導表示を壁面の誘導方向に走査表示しているため、誘導方向が分かりやすくなっている。

【0025】また、請求項10記載の発明では、請求項1乃至9記載の発明において、壁面の誘導灯周囲部にエア流通口を設け、壁内部にエア流通口と流通する流通路を設け、この流通路内にエア流通口からのエア排気又は吸気を行うエアブロー装置を設けてなることを特徴として構成している。

【0026】このような誘導灯システムでは、壁面の誘導灯周囲部にエア流通口を設け、壁内部にエア流通口と流通する流通路を設け、この流通路内にエア流通口からのエア排気又は吸気を行うエアブロー装置を設けているため、エアブロー装置により流通路を通してエア流通口から壁面付近へのエアの吹き出し又は吸い込みができ、壁面付近の煙を除去して表示手段の視認性が向上している。

【0027】

【発明の実施の形態】本発明の実施形態のを図1乃至図5に基づいて以下に説明する。

【0028】図1は、本発明の実施形態の誘導灯システムを示す説明図である。また、図2は、同上の誘導灯システムにおける誘導灯5を示す斜視図である。また、図3は、同上の誘導灯システムの動作を示すフローチャート図である。

【0029】図1乃至図3に示すように、この誘導灯システムは、建物内の複数の出入口に取り付けられ災害時に発生する出入口通過に関する危険情報21を検知する危険検知手段1と、災害時の最適避難出入口および他の避難可能な出入口を記憶させた記憶手段2と、危険情報21に基づいて最適避難出入口の安全性を判断し、最適避難出入口が危険である場合に、他の出入口の中から安全な出入口を選択する制御手段3と、通常時に最適避難

出入口を通常表示 20 するとともに、最適避難出入口が危険である場合の安全な他の出入口方向へ変更表示 22 する表示手段 4 を前面に備えた誘導灯 5 と、を備えている。

【0030】また、災害を火事とし危険検出手段として、炎検知センサを用いている。また、建物内の複数の出入口に煙又はガス検知センサ 7 を備え、制御手段 3 により選択された出入口に煙又はガスを発生している場合に、煙又はガスの付加情報を表示手段 4 に表示させている。また、記憶手段 2 が、各誘導灯 5 の避難可能な出入口を誘導灯 5 と避難出入口との位置関係により、より避難に適した出入口を順位を付けて記憶しているとともに、この順位に基づいて制御手段 3 が安全な出入口を選択している。また、災害時の危険情報 21 を表示手段 4 に表示させている。また、誘導灯 5 周囲の人体を検知して制御手段 3 に検知信号を送信する人体検知手段 8 を誘導灯 5 近傍に設け、人がいる場合に表示手段 4 による表示変更を行っている。また、人体検知手段 8 を人の声を検知する音声検知センサにより形成している。

【0031】危険検出手段は、炎検知センサを用い、例えば炎から発せられる紫外線を検知する紫外線検知センサなどから形成されている。この紫外線検知センサは建物内から外部へ通じる通用口、非常出口などの出入口近辺の天井や壁面 25 などに取り付けられており、出入口近辺で発生する火災を検知するようになっている。検知信号は、所定の基準値よりも紫外線の検出量が多いときに検知信号が on になるように設定されている。この紫外線検知センサは制御装置に電気接続され、検知信号が制御装置に伝えられる。

【0032】記憶手段 2 は、災害時の最適避難出入口および他の避難可能な出入口を記憶している。最適避難出入口は、避難しやすいよう誘導灯 5 に最も近い出入口が設定され、他の避難可能な出入口は建物の同じ階の最適避難出入口よりも遠い出入口が設定されている。他の避難可能な出入口が複数ある場合は、優先順位を付けて記憶している。優先順位は、誘導灯 5 と出入口との位置関係により、より避難に適した出入口の順、例えば出入口が誘導灯 5 に近い順に順位付けられている。この記憶手段 2 は制御手段 3 に電気接続されている。

【0033】制御手段 3 は、危険情報 21 に基づいて最適避難出入口の安全性を判断する。この判断では、検知信号が on のときすなわち火災を検知した場合は危険、検知信号が off のときすなわち火災を検知しない場合は安全としている。最適避難出入口が危険と判断した場合は、他の出入口の中から危険情報 21 が安全である出入口を選択する。安全な出入口が複数ある場合は優先順位に基づき、優先順位の高い方を選択する。

【0034】誘導灯 5 は、横長の略直方体形状に形成され、前面に液晶パネルからなる表示手段 4 が具備されている。この誘導灯 5 は、建物の廊下の壁面 25 や出入口

の上方に取り付けられており、表示手段 4 への通電や制御信号を行う電線が誘導灯 5 ケースから天井へ壁面 25 に向かうパイプ管内に収納され、天井裏や壁裏の通路に配線され、制御手段 3 や電源に接続されている。

【0035】図 2 に示すように、表示手段 4 は、誘導灯 5 が建物の廊下壁面 25 に配設される場合、通常時すなわち危険検知手段 1 が危険情報 21 を検知しないときは、最適避難出入口の方向を示す矢印および人が駆ける絵シンボルなどの通常表示 20 が表示されている。また、災害発生時すなわち危険検知手段 1 が危険情報 21 を検知したときは、通常表示 20 が液晶パネル内で縮小表示され、空いたスペースに危険情報 21 を検知した危険検出手段の配置場所、この場合北側階段および災害の種類、この場合火災発生などの危険情報 21 が表示される。このとき、(a) に示すように、制御手段 3 により最適避難出入口が安全と判断されたときは、危険情報 21 を表示するのみである。また、(b) に示すように、制御手段 3 により最適避難出入口が危険と判断されて他の安全な出入口が選択された場合は、避難方向を示す矢印の向きが選択された出入口の方向に変更表示 22 される。

【0036】また、この誘導灯システムでは、建物内の複数の出入口に煙およびガス検知センサ 6、7 が備えられている。この、煙検知センサ 6 は、例えば一对の受光・発光素子を対向配置したフォトセンサから形成され、受光・発光素子間の煙により受光素子の受光量が減少することを利用して煙を検知できる。また、ガス検知センサ 7 は、一般に使用される有電圧検出器などを用いればよい。これらの煙およびガス検知センサ 6、7 は、制御手段 3 に接続されて検知信号を制御手段 3 に通信している。そして、制御手段 3 に選択された出入口に取り付けられた煙又はガス検知センサ 6、7 の検知信号が on のときは、表示手段 4 に煙又はガスの発生を示すマークを表示する。

【0037】また、誘導灯 5 周囲の人体を検知する人体検知手段 8 としては、例えば、CCD カメラ、人体熱を検知する赤外線センサ、人の声を検出する音声検知センサ、フォトセンサなどにより形成することができる。この場合、誘導灯 5 下部に音声検知センサを取り付けている。この人体検知手段 8 により検知信号は制御手段 3 に送信され、制御手段 3 は、人が検知された場合にのみ表示手段 4 による表示変更を行うよう表示手段 4 を制御する。

【0038】このような誘導灯システムでは、災害時に危険検知手段 1 により検知された危険情報 21 に基づいて、制御手段 3 により最適避難出入口の安全性を判断し、最適避難出入口が危険である場合に、他の出入口の中から安全な出入口を選択し、表示手段 4 によりこの選択された出入口に誘導表示を変更表示 22 するため、通常表示 20 された指示方向の最適避難出入口に危険があ

る場合に、安全な出入口方向を知ることができ適切に避難できる。また、最適避難出入口付近で火事が発生したときに、炎検知センサで炎を検知するため、火事の危険情報21を知ることができる。また、制御手段3により選択された出入口に煙又はガスが発生している場合に、煙又はガス検知センサ7によりこの出入口付近での煙又はガスの付加情報を知ることができるため、煙又はガスに対する安全行動の必要性を知ることができる。また、最適避難出入口が危険である場合に、記憶手段2に記憶された順位に基づきより避難に適した出入口への誘導表示を行うため、より適切に避難できる出入口を知ることができる。また、表示手段4が災害時の危険情報21を表示するため、災害の箇所を知ることができ、落ち着いて避難できる。人体検知手段8により、誘導灯5周囲の人体を検知し、人がいる場合に表示手段4による表示変更を行うため、人がいない時は表示変更しないことができ、表示変更による電力損失を軽減できる。また、人体検知手段8を人の声を検知する音声検知センサにより形成しているため、煙などの影響を受けずに、人の声を検知することができる。

【0039】図4は、本発明の実施形態の同上と異なる誘導灯システムを示す説明図である。

【0040】この誘導灯システムは、同上の誘導灯システムと同様の構成を有している。異なる点は、誘導灯5を壁面25の対向位置に配置し、表示手段4の表示内容をこの壁面25に拡大投影表示26する投影装置を誘導灯5に設けていることである。さらに、安全な出入口方向への誘導表示を壁面25の誘導方向に走査表示させるレーザー照射装置を誘導灯5に設けている。

【0041】誘導灯5は、建物の廊下の対向する壁面25の一方に取り付けられ、投影装置は、他方の壁面25に通常時や災害時の表示を拡大投影して表示している。さらに、レーザー照射装置は、レーザー照射により他方の壁面25に誘導方向を示す矢印のマークを表示し、このレーザー照射方向を矢印の進行方向に繰り返し走査させている。

【0042】このような誘導灯システムでは、誘導灯5に設けた投影装置により、対向する壁面25に表示手段の表示内容を拡大投影表示26するため、表示内容を拡大して見易くなっている。また、誘導灯5に設けたレーザー照射装置により、安全な出入口方向への誘導表示を壁面25の誘導方向に走査表示しているため、誘導方向が分かりやすくなっている。

【0043】図5は、本発明の実施形態の同上と異なる誘導灯システムを示す説明図である。

【0044】この誘導灯システムは、同上の誘導灯システムと同様の構成を有している。異なる点は、壁面25の誘導灯5周囲部にエア流通口9を設け、壁内部にエア流通口9と流通する流通路10を設け、この流通路10内にエア流通口9からのエア27の排気又は吸

気を行うエアブロー装置11を設けていることである。

【0045】投影装置により投影図が表示される壁面25の相当部分の周囲に横孔、縦孔からなる複数のエア流通口9が設けられている。エアブロー装置11は、ポンプなどから形成され、壁面25裏方に配設されており、流通路10を介してエア27をエア流通口9に排気又は吸気自在に形成されている。また、エアブロー装置11は、建物の壁面25に内設された外部通路を介して建物外部に開口したエア27ダクトに通じており、流通路10からの排気又は吸気をエアダクトから行うことができる。

【0046】このような誘導灯システムでは、壁面25の誘導灯5周囲部にエア流通口9を設け、壁内部にエア流通口9と流通する流通路10を設け、この流通路10内にエア流通口9からのエア27排気又は吸気を行うエアブロー装置11を設けているため、エアブロー装置11により流通路10を通してエア流通口9から壁面25付近へのエア27の吹き出し又は吸い込みができ、壁面25付近の煙を除去して表示手段の視認性が向上している。

【0047】

【発明の効果】請求項1記載の発明では、災害時に危険検知手段により検知された危険情報に基づいて、制御手段により最適避難出入口の安全性を判断し、最適避難出入口が危険である場合に、他の出入口の中から安全な出入口を選択し、表示手段によりこの選択された出入口に誘導表示を変更表示するため、通常表示された指示方向の最適避難出入口に危険がある場合に、安全な出入口方向を知ることができ適切に避難できる。

【0048】また、請求項2記載の発明では、最適避難出入口付近で火事が発生したときに、炎検知センサで炎を検知するため、火事の危険情報を知ることができる。

【0049】また、請求項3記載の発明では、制御手段により選択された出入口に煙又はガスが発生している場合に、煙又はガス検知センサによりこの出入口付近での煙又はガスの付加情報を知ることができるため、煙又はガスに対する安全行動の必要性を知ることができる。

【0050】また、請求項4記載の発明では、最適避難出入口が危険である場合に、記憶手段に記憶された順位に基づきより避難に適した出入口への誘導表示を行うため、より適切に避難できる出入口を知ることができる。

【0051】また、請求項5記載の発明では、表示手段が災害時の危険情報を表示するため、災害の箇所を知ることができ、落ち着いて避難できる。

【0052】また、請求項6記載の発明では、人体検知手段により、誘導灯周囲の人体を検知し、人がいる場合に表示手段による表示変更を行うため、人がいない時は表示変更しないことができ、表示変更による電力損失を軽減できる。

【0053】また、請求項7記載の発明では、人体検知手段を人の声を検知する音声検知センサにより形成しているため、煙などの影響を受けずに、人の声を検知することができる。

【0054】また、請求項8記載の発明では、誘導灯に設けた投影装置により、対向する壁面に表示手段の表示内容を拡大投影表示するため、表示内容を拡大して見易くなっている。

【0055】また、請求項9記載の発明では、誘導灯に設けたレーザー照射装置により、安全な出入口方向への誘導表示を壁面の誘導方向に走査表示しているため、誘導方向が分かりやすくなっている。

【0056】また、請求項10記載の発明では、壁面の誘導灯周囲部にエア流通口を設け、壁内部にエア流通口と流通する流通路を設け、この流通路内にエア流通口からのエアの排気又は吸気を行うエアブロー装置を設けているため、エアブロー装置により流通路を通してエア流通口から壁面付近へのエアの吹き出し又は吸い込みができ、壁面付近の煙を除去して表示手段の視認性が向上している。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態の誘導灯システムを示す説明図である。

【図2】同上の誘導灯システムにおける誘導灯を示す斜視図である。

【図3】同上の誘導灯システムの動作を示すフローチャート図である。

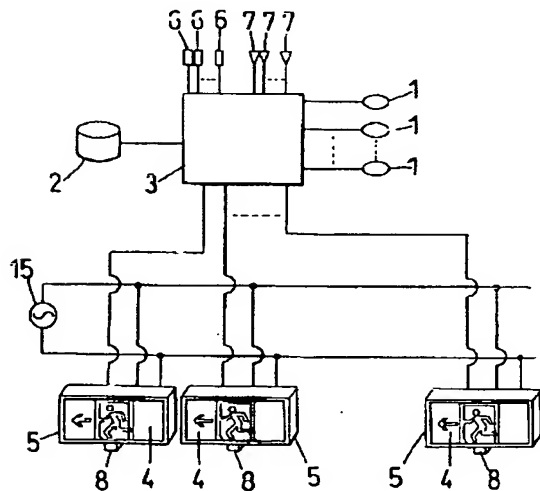
【図4】本発明の実施形態の同上と異なる誘導灯システムを示す説明図である。

【図5】本発明の実施形態の同上と異なる誘導灯システムを示す説明図である。

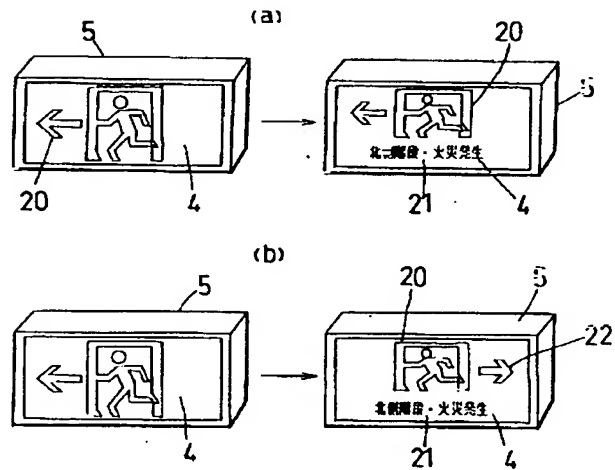
【符号の説明】

- 1 危険検知手段
- 2 記憶手段
- 3 制御手段
- 4 表示手段
- 5 誘導灯
- 6 煙検知センサ
- 7 ガス検知センサ
- 8 人体検知手段
- 9 エア流通口
- 10 流通路
- 11 エアブロー装置
- 20 通常表示
- 21 危険情報
- 22 変更表示
- 25 壁面
- 26 投影表示
- 27 エア

【図1】

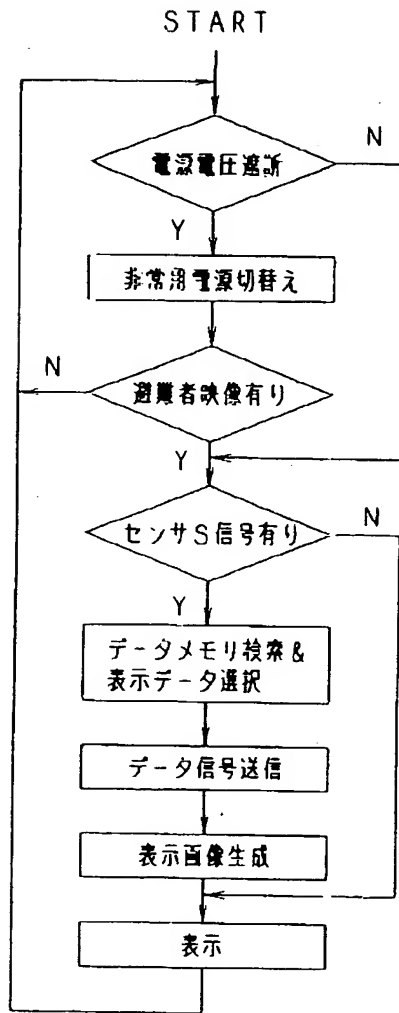


【図2】

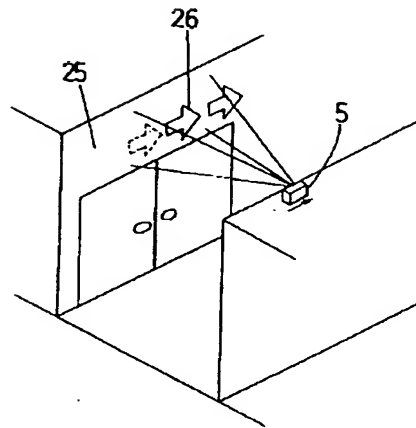




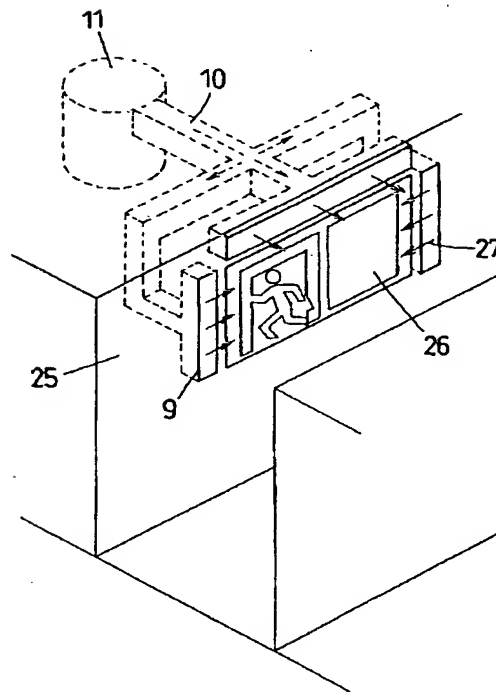
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5C096 AA01 AA21 BA01 BA05 BB23  
 BC15 CB01 CB10 CJ13 DA10  
 DC04 DC10 DC12 DC14 DC29  
 FA03  
 5G405 AA01 AA08 AB02 AB03 AB05  
 CA21 CA28 CA60